

令和4年度事業報告



日本赤十字社山梨県支部

目 次

I 支部事業について

1 救援活動について	1
2 赤十字講習の普及状況について	4
3 赤十字ボランティアの活動状況について	6
4 青少年赤十字の活動状況について	12
5 献血事業について	19
6 赤十字社旨普及活動について	19

II 施設事業

1 山梨赤十字病院	20
2 山梨県赤十字血液センター	24

I 支部事業について

1 救援活動について

(1) 災害救護活動

○令和4年度救護員等の派遣要請は無し

(2) 臨時救護活動

・護国神社例大祭 2日(春季・秋季) 救護員 各4名(看護師2名、主事2名)

・信玄公祭り 救護員 4名(医師1名、看護師1名、主事2名)

・やまなしボランティア・NPOネットワーク交流会 救護員 1名(看護師1名)

(3) 義援金・救援金

ア 義援金

義 援 金 名 称	件 数	金 額
平成30年7月豪雨災害義援金	0件	0円
令和2年7月豪雨災害義援金	3件	11, 203円
令和4年3月福島県沖地震災害義援金	4件	73, 718円
令和4年7月大雨災害義援金	1件	35円
令和4年8月3日からの大雨災害義援金	12件	440, 106円
令和4年台風第15号災害義援金	12件	374, 733円
合 計	32件	899, 795円

○受付が終了した義援金

- ① 平成30年7月豪雨災害義援金(令和4年6月30日受付終了)
- ② 令和2年7月豪雨災害義援金(令和4年9月30日受付終了)
- ③ 令和4年3月福島県沖地震災害義援金(令和4年6月30日受付終了)
- ④ 令和4年7月大雨災害義援金(令和4年10月31日受付終了)
- ⑤ 令和4年8月3日からの大雨災害義援金(令和5年3月31日受付終了)
- ⑥ 令和4年台風第15号災害義援金(令和4年12月28日受付終了)

イ 救援金等

救 援 金 等 名 称	件 数	金 額
NHK 海外たすけあい	630件	7, 249, 402円

中東人道危機救援金	0件	0円
バングラデシュ南部避難民救援金	1件	50, 000円
アフガニスタン人道危機救援金	1件	200, 000円
ウクライナ人道危機救援金	160件	28, 839, 400円
無指定海外救援金	1件	37, 203円
2022年パキスタン洪水救援金	2件	71, 070円
2023年トルコ・シリア地震救援金	56件	1, 822, 857円
合 計	851件	38, 269, 932円

○受付が終了した救援金

- ① 2022年パキスタン洪水救援金(令和4年11月30日受付終了)

(4) 救援物資配分並びに備蓄状況(令和5年3月31日)

品 名	配分数	備蓄数	備考
毛 布	53枚	5,579 枚	
緊急セット	20個	857個	
安眠セット	0個	517個	

*上記以外に地区分区(市町村)に毛布2, 650枚、緊急セット360個の備蓄があります。

(5) 参加訓練・研修会

月 日	行 事	会 場	参 加 者 数
11月3日	第3ブロック支部合同災害救護訓練 (長野県支部担当)	諏訪赤十字病院	災害対策本部要員 2 救護員(救護班) 6
11月6日	山梨県地震防災訓練	西桂町立西桂中学校	防災ボランティア 2 災害対策本部要員 3
11月13日	甲府市総合防災訓練	富士川悠遊館グランド	救援バイクボランティア 15 災害対策本部要員 2
1月16日	第2ブロック支部先遣要員訓練 (茨城県支部担当)	Web 会議 (学科のみ実施)	第2ブロック先遣要員 2
1月19日 ～20日	第2ブロック支部先遣要員訓練 (茨城県支部担当)	茨城県支部	災害対策本部要員 2
3月3日	第2ブロック支部被災地支部災対本部運営訓練 (埼玉県支部担当)	埼玉県支部	災害対策本部要員 2

(6)赤十字奉仕団員等災害救護訓練

日 程	10月14日	10月18日	10月20日	10月27日	合 計
地 区 名	峡南地域	富士・東部地域	中北地域	峡東地域	
会 場	アルカディア南部総合公園・体育館	富士河口湖町民体育館	甲府市総合市民会館	甲州市塩山体育館	
奉仕団員	42	37	37	36	152
地区分区職員	13	12	7	3	35
指 導 者	10	8	12	12	42
合 計	65	57	56	51	229

(7)救護員養成

日本赤十字看護大学

	1学年	2学年	3学年	4学年	合 計
在学生数	1	2	3	3	9

(8)日本赤十字社看護師同方会山梨県支部

会員数	109名	○年間活動
顧 問	保 延 登芽子	・総 会 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、文書審議
〃	吉 原 美 幸	・役員会の開催
〃	伊 藤 誠 司	・山梨県護国神社例大祭での救護所開設(春・秋)
会 長	岡 本 理 恵	・支部主催事業への協力
副会長	清 水 邦 子	・県市町村等関係行事への協力
〃	渡 辺 久 子	
幹 事	平 賀 祐 子	
〃	渡 辺 満 穂	
監 事	小 山 ひろ美	

2 赤十字講習の普及状況について

講習実施状況

区分	短期講習		養成講習		合計	
	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数	実施回数	受講者数
救急法基礎			19	277	19	277
救急法	219	8, 363	15	195	234	8, 558
水上安全法						
雪上安全法						
幼児安全法	21	447	1	9	22	456
健康生活支援講習	2	23			2	23
防災啓発プログラム						
合計	242	8, 833	35	481	277	9, 314

※本社暫定措置内容に基づき実施いたしました。

(1) 救急法(指導員数91名)

○救急法基礎講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
富士吉田市看護専門学校	4月8日	富士吉田市看護専門学校	34
山梨赤十字病院看護部	5月16日	山梨赤十字病院	13
日本赤十字社山梨県支部	6月1日	山梨赤十字病院	9
帝京福祉専門学校	7月6日	帝京福祉専門学校	13
日本赤十字社山梨県支部	7月27日	日本赤十字社山梨県支部	9
日本赤十字社山梨県支部	8月11日	日本赤十字社山梨県支部	6
南アルプス青年会議所	8月27日	西野松声堂	20
株式会社トリケミカル研究所	9月9日	株式会社トリケミカル研究所 Annex 棟	14
山梨県警察本部	9月12日	山梨県警察学校	32
山梨県赤十字病院	9月28日	山梨赤十字病院	4
山梨県歯科衛生専門学校	10月25日	山梨県歯科衛生専門学校	43
介護労働安定センター山梨県支部	11月1日	山梨県中小企業人材開発センター	11
日本赤十字社山梨県支部	11月10日	日本赤十字社山梨県支部	11
帝京福祉専門学校	12月13日	帝京福祉専門学校	5
山梨県警察本部	1月6日	山梨県警察学校	20
日本赤十字社山梨県支部	1月8日	日本赤十字社山梨県支部	8

山梨市社会福祉協議会	3月2日	山梨市民会館	12
日本赤十字社山梨県支部	3月4日	日本赤十字社山梨県支部	11
日本赤十字社山梨県支部	3月28日	日本赤十字社山梨県支部	4

※本社通知に基づき暫定措置内容にて実施

○救急法救急員養成講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
山梨赤十字病院看護部	5月16日 ～18日	山梨赤十字病院	13
日本赤十字社山梨県支部	6月1日 ～3日	山梨赤十字病院	9
帝京福祉専門学校	7月5日 ～7日	帝京福祉専門学校	13
日本赤十字社山梨県支部	7月27日 ～29日	日本赤十字社山梨県支部	9
日本赤十字社山梨県支部	8月11日 ～13日	日本赤十字社山梨県支部	6
山梨県警察本部	9月12日 ～16日	山梨県警察学校	32
日本赤十字社山梨県支部	9月28日 ～30日	山梨赤十字病院	4
山梨県歯科衛生専門学校	10月25日 ～28日	山梨県歯科衛生専門学校	43
介護労働安定センター山梨県支部	11月1日 ～4日	山梨県中小企業人材開発センター	11
日本赤十字社山梨県支部	11月10日 ～12日	日本赤十字社山梨県支部	11
帝京福祉専門学校	12月13日 ～15日	帝京福祉専門学校	5
山梨県警察本部	1月6日 ～12日	山梨県警察学校	20
日本赤十字社山梨県支部	1月13日 ～14日	日本赤十字社山梨県支部	6
日本赤十字社山梨県支部	3月10日 ～11日	日本赤十字社山梨県支部	10

日本赤十字社山梨県支部	3月29日 ～30日	日本赤十字社山梨県支部	4
-------------	---------------	-------------	---

(2)水上安全法(指導員数4名)

○水上安全法救助員養成講習 I

主 催	月 日	会 場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	7月13日 ～15日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

(3)幼児安全法(指導員 15 名)

○幼児安全法支援員養成講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	8月25日 ～26日	山梨赤十字病院	9

(4)健康生活支援講習(指導員7名)

○健康生活支援講習支援員養成講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	6月30日 ～7月1日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

○災害時高齢者生活支援講習

主 催	月 日	会 場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	6月24日	山梨赤十字病院	11

○健康生活支援講習短期講習(介護教室)

主 催	月 日	会 場	受講者数
日本赤十字社山梨県支部	10月8日	中止(新型コロナウイルス感染症感染防止のため)	

(5)防災教育セミナー

主 催	月 日	会 場	受講者数
中央市・昭和町障がい者相談センター 穂のか	8月27日	玉穂総合会館	11

3 赤十字ボランティアの活動状況について

(1)地域赤十字奉仕団(5, 167人:令和5年3月31日現在)

(単位:名)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	13
5月30日	赤十字奉仕団中央委員会	本社	1
10月14日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡南地域)	南部総合公園スポーツセンター体育館	42
10月18日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(富士・東部地域)	富士河口湖町民体育館	37
10月20日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(中北地域)	甲府市総合市民会館	37
10月27日	赤十字奉仕団等災害救護訓練(峡東地域)	甲州市塩山体育館	36
11月21日	日本赤十字社第2ブロック赤十字奉仕団 委員長・支部担当課長会議	山梨赤十字会館(Web会議)	1
3月1日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	20
3月1日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会役員会	山梨赤十字会館	4

移動献血バスに対する奉仕活動

地区・分区	回 数	参加者数	地区・分区	回 数	参加者数
甲 府 市	3	12	早 川 町	-	-
富 士 吉 田 市	1	4	身 延 町	4	17
都 留 市	2	6	南 部 町	2	8
山 梨 市	3	15	富 士 川 町	3	10
大 月 市	2	4	昭 和 町	3	16
韮 崎 市	3	6	道 志 村	-	-
南 アルプス市	9	34	西 桂 町	2	7
北 杜 市	11	35	忍 野 村	2	4
甲 斐 市	5	15	山 中 湖 村	2	4
笛 吹 市	6	24	鳴 沢 村	1	3
上 野 原 市	2	8	富士河口湖町	-	-
甲 州 市	5	28	小 菅 村	-	-
中 央 市	4	13	丹 波 山 村	1	3
市 川 三 郷 町	3	12	計	79	289

(2)青年赤十字奉仕団(11名:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月 5日	山梨県立大学飯田キャンパス内団員募集	山梨県立大学	1
4月 9日	山梨大学合同新入生歓迎会団員募集	Web 開催	2
4月12日	山梨県立大学池田キャンパス内団員募集	山梨県立大学	1
4月23日	青年赤十字奉仕団全国協議会	Web 開催	1
4月23日	山梨県立大学合同新入生歓迎会団員募集	Web 開催	1
4月24日	青年赤十字奉仕団全国協議会	Web 開催	1
5月19日	総会及び団員研修会	山梨赤十字会館	7
5月30日	山梨大学移動献血協力	甲府西キャンパス健康管理センター	1
6月 1日	茨城県青年赤十字奉仕団連絡協議会	Web 開催	1
6月26日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会(第1回)	Web 開催	2
7月10日	愛の血液たすけあい献血キャンペーン	イオンモール甲府昭和	2
8月 1日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(小学生)	愛宕山少年自然の家	1
8月 2日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(中学生)	愛宕山少年自然の家	1
8月 4日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(高等学校)	愛宕山少年自然の家	3
9月11日	青年赤十字奉仕団全国協議会	Web 開催	1
11月26日	第2ブロック支部青年赤十字奉仕団連絡協議会(第2回)	Web 開催	1
1月 8日	はたちの献血キャンペーン	イオンモール甲府昭和	1
2月27日	役員会	Web 開催	3
3月 1日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1

■定例会 隨時

(3)特殊赤十字奉仕団

ア 無線赤十字奉仕団(26名:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月 9日	総 会	山梨赤十字会館	8

10月 1日	役員会	甲西農村環境改善センター	7
10月 16日	非常無線通信訓練(島根県)	団員自宅	1
10月 22日	非常無線通信訓練(兵庫県)	団員自宅	1
10月 23日	非常無線通信訓練(兵庫県)	団員自宅	1
10月 29日	信玄公祭りボランティア	JR 甲府駅前他	9
10月 30日	非常無線通信訓練(北海道)	団員自宅	1
11月 5日	非常無線通信訓練(山口県)	団員自宅	1
11月 6日	非常無線通信訓練(山口県)	団員自宅	1
11月 6日	非常無線通信訓練(和歌山県)	団員自宅	1
12月 18日	非常無線通信訓練(愛知県)	団員自宅	1
1月 29日	非常無線通信訓練(宮崎県)	団員自宅	1
3月 12日	役員会	山梨赤十字会館	7
3月 26日	非常無線通信訓練(神奈川県)	団員自宅	1

イ 安全赤十字奉仕団(44名:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月 10日	総会	山梨赤十字会館	3
5月 26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
7月 23日	団員研修会	韮崎市民交流センター	6
9月 23日	団員研修会	上吉田コミュニティセンター	4
10月 2日	団員研修会	甲斐市杏色の街クラブハウス	4
12月 11日	武田の杜トレイルラン救護	武田の杜～健康の杜	3
3月 1日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1

ウ 救護赤十字奉仕団(28名:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月	総会	文書審議	
4月 3日	柔道大会救護活動1	小瀬スポーツ公園武道館	1
4月 17日	柔道大会救護活動2	小瀬スポーツ公園武道館	2
4月 25日	柔道大会救護活動3	山梨学院大学樹徳館	1
5月 1日	柔道大会救護活動4	小瀬スポーツ公園武道館	1
5月 11日	柔道大会救護活動5	小瀬スポーツ公園武道館	2
5月 21日	勉強会		8
5月 22日	柔道大会救護活動6	山梨学院大学樹徳館	2
5月 26日	赤十字奉仕団山梨県支部委員会	山梨赤十字会館	1
6月 12日	柔道大会救護活動7	竜王武道館	1

6月 16日	柔道大会救護活動8	小瀬スポーツ公園武道館	2
7月 10日	柔道大会救護活動9	小瀬スポーツ公園武道館	1
7月 24日	柔道大会救護活動10	小瀬スポーツ公園武道館	2
9月 25日	柔道大会救護活動11	小瀬スポーツ公園武道館	1
10月 16日	柔道大会救護活動12	小瀬スポーツ公園武道館	1
10月 22日	柔道大会救護活動13	小瀬スポーツ公園武道館	2
10月 30日	柔道大会救護活動14	小瀬スポーツ公園武道館	2
11月 6日	山梨県地震防災訓練	西桂町交流センター	2
11月 20日	柔道大会救護活動15	小瀬スポーツ公園武道館	2
12月 4日	柔道大会救護活動16	小瀬スポーツ公園武道館	2
1月 15日	柔道大会救護活動17	小瀬スポーツ公園武道館	1
2月 19日	柔道大会救護活動18	小瀬スポーツ公園武道館	2
3月 12日	柔道大会救護活動19	小瀬スポーツ公園武道館	1
3月 19日	柔道大会救護活動20	小瀬スポーツ公園武道館	2

エ 赤十字救援バイクV・Sやまなし(106名:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月 2日	総会	文書審議	
7月 22日	役員会(第1回)		7
9月 22日	役員会(第2回)		7
11月 13日	甲府市総合防災訓練	富士川悠遊館	15
11月 13日	秋の走行訓練	富士川悠遊館～拠点病院経由～道の駅富士川	15

オ 青少年赤十字賛助奉仕団(31名:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月 8日	総会	山梨赤十字会館	6
4月 20日	加盟登録式	笛吹市立一宮北小学校	2
4月 25日	加盟登録式	笛吹市立一宮南小学校	2
5月 2日	加盟登録式	笛吹市立一宮西小学校	2
5月 2日	加盟登録式	笛吹市立一宮中学校	2
5月 13日	加盟登録式	北杜市立武川小学校	1
5月 13日	加盟登録式	山梨市立後屋敷小学校	1
5月 19日	加盟登録式	甲府市立南中学校	2
5月 20日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 第2回役員会	Web 開催	1

6月 2日	加盟登録式	大月市立大月東中学校	1
6月 6日	加盟登録式	甲府市立新紺屋小学校	2
6月10日	加盟登録式	甲府市立国母小学校	2
6月28日	加盟登録式	山梨市立八幡小学校	1
7月14日 ～15日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会総会	日本赤十字社本社・別館	1
8月 1日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(小学校)	山梨県立愛宕山少年自然の 家	3
8月 2日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(中学校)	山梨県立愛宕山少年自然の 家	2
8月 4日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(高等学校)	山梨県立愛宕山少年自然の 家	3
8月 8日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 「いとすぎ」第28号原稿執筆		1
10月14日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練	南部町アルカディア南部総合 公園・体育館	4
10月18日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練	富士河口湖町民体育館	2
10月20日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練	甲府市総合市民会館	2
10月27日	赤十字奉仕団員等災害救護訓練	甲州市塩山市民体育館	5
11月 9日	青少年赤十字研究指定公開研究会	一宮中・一宮南小・一宮西小・ 一宮北小	3
11月29日	全国青少年赤十字賛助奉仕団協議会 第2ブロック研究会	文書審議	
2月 2日	青少年赤十字メンバー表彰式	山梨県立図書館	4
3月 1日	赤十字奉仕団委員長研修会	山梨赤十字会館	1
3月23日	役員会	山梨赤十字会館	6

カ 拡大写本赤十字奉仕団(24名:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
4月	総会	文書審議	
8月25日	教科書納入 国語(小2下)光村 11分冊 〃 算数(小2)大日 7分冊		
8月29日	教科書納入 国語(小2下)光村 白黒反転 7分冊		
3月28日	教科書納入 国語(小3上)光村 白黒反転 6分冊 〃 国語(小3上)光村 12分冊 〃 算数(小3)大日 8分冊		

	〃 国語(小2上)東書 白黒反転 10分冊 〃 道徳(小2)学研 白黒反転 5分冊 〃 国語(小5)東書 白黒反転 8分冊 〃 道徳(小5)学研 白黒反転 8分冊		
	絵本作製 どうものイス このママにきめたノンタン いもうといいなノンタン バースデイ		

■活動日 毎週月曜日 AM:絵本作製班 5名 PM:算数作製班 6名

毎週火曜日 国語反転作製班 7名

毎週水曜日 国語作製班 6名

(4) 個人ボランティア(令和5年3月31日現在)

ア 防災ボランティア(個人登録30名・団体登録5団体:251名)

イ 防災ボランティアリーダー(11名)

ウ 防災教育指導者(6名)

月 日	行 事	会 場	参加者数
5月10日	防災教育事業主任指導者研修	Web 開催	2
10月1日 ～2日	防災教育事業本社指導者養成研修	本社	1
11月8日	第2回防災教育事業主任指導者研修	Web 開催	1

エ 病院ボランティア(6人:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	活動日数
4月～3月	初診外来に来られた方への案内等	山梨赤十字病院	無し

(5)赤十字奉仕団指導講師(10人:令和5年3月31日現在)

月 日	行 事	会 場	参加者数
12月16日	山梨市赤十字奉仕団研修会	山梨市民会館	1

4 青少年赤十字の活動状況について

(1)活動状況

月　日	行　事	会　場	参加者数
4月～6月	新規加盟案内 加盟登録式	各校(園・所)	
4月19日	青少年赤十字指導者協議会総会	山梨赤十字会館	指導者 43
5月 5日	青少年赤十字創設100周年 オープニングイベント	日本赤十字社本社	高メンバー 1 指導者 1
5月30日	高校生協議会	山梨赤十字会館	メンバー 13 指導者
6月29日	全国指導者協議会総会	Web 開催	指協会長 1
7月 7日	青少年赤十字担当者会議(高校)	Web 開催	指導者 8
7月 7日	青少年赤十字担当者会議(小・中)	山梨赤十字会館	指導者 14
8月 1日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(小学校)	山梨県立愛宕山自然の家	メンバー 50 指導者 18
8月 2日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(中学校)	山梨県立愛宕山自然の家	メンバー 36 指導者 13
8月 4日	青少年赤十字リーダー養成 トレーニングセンター(高等学校)	山梨県立愛宕山自然の家	メンバー 26 指導者 12
8月　日	高校生対象救急法講習会	山梨赤十字会館	中止
8月19日	第2ブロック支部青少年赤十字 指導者協議会総会・研究集会	Web 開催	指導者 7
9月22日	山梨県こども赤十字祭り打合せ会	山梨赤十字会館	指導者 3
10月2日	青少年赤十字創設100周年記念		高メンバー 8
11月5・6日	国際交流事業	Web 開催	指導者 1
10月25日	山梨県こども赤十字祭り	山梨県立図書館	中止
10月26日	高校生活動実践発表会	山梨赤十字会館	メンバー 13 指導者 8
11月 9日	青少年赤十字活動研究指定校 公開研究会	一宮中・一宮西小・ 一宮南小・一宮北小	指導者 72
12月 1日	NHK海外たすけあい オープニングセレモニー	NHK 甲府放送局	中止
2月 2日	青少年赤十字メンバー表彰式	山梨県立図書館	メンバー 61 指導者 34
2月 7日	幼稚園・保育所(園)・認定こども園 対象青少年赤十字研修会	山梨赤十字会館	指導者 4

3月21日 25日	青少年赤十字スタディーセンター	Web 開催 日本赤十字社本社	高メンバー 1 指導者 1
3月28日 ～30日	高校生対象救急法講習会	山梨赤十字会館	メンバー 4

(2)青少年赤十字活動実践推進校・推進園

1	みかさこども園	野菜を育てて優しさや思いやりの心を育む
2	押原こども園	経験、体験から命の大切さを学び、生きる力をつけていこう
3	和泉愛児園	自然の中で心と体づくり～健康な体～
4	すみよし愛児園	緑化活動を通じて、人と人とのつながりを感じ、感謝や奉仕する心を育む
5	つつじが崎学園	花いっぱい運動
6	新紺屋小学校	心ひとつにみんなでつくろう！新紺屋の輪
7	湯田小学校	スマイルー児童会で取り組む「気づき考え実行する」
8	相川小学校	気づき、考え、自ら行動する児童の育成
9	国母小学校	『かがやけ国母レインボー』～ミライへの虹（はし）をかけよう！～
10	甲運小学校	笑顔でトライ！！甲運小の青い鳥
11	羽黒小学校	さらにむこうへ
12	善誘館小学校	善誘館小学校や朝氣ふれあい公園をきれいにする活動
13	芦安小学校	郷土を愛する心と夢を育み 未来を拓く人づくり
14	櫛形西小学校	「他との関わりの中で、互いに学び合う児童の育成」
15	大明小学校	心豊かに、よりよい自分をめざし学び合う生徒の育成～「気づき 考え 実行する」活動を通して～
16	武川小学校	思いやりの心を育み実践に生かそう
17	常永小学校	青少年赤十字活動を通した生きる力の育成
18	日下部小学校	「自ら学び 心豊かで たくましく生きる児童の育成」…「気づき、考え、実行する児童の育成」…
19	後屋敷小学校	心身ともに健康で 人間性豊かな たくましい子ども育成
20	八幡小学校	「生きる力を支える確かな学力の育成」～ICT 端末を効果的に活用した、主体的・対話的で深い学びに向けた授業づくり～
21	笛川小学校	「豊かな心・確かな学力・健やかな体をはぐくむための指導の工夫」
22	菱山小学校	小規模校のよさを生かした奉仕と親善の精神を育成する
23	松里小学校	地域の特色を生かした青少年赤十字活動
24	大藤小学校	コロナに負けない楽しく、きれいな大藤小
25	勝沼小学校	「気づき 考え 実行する児童の育成」

26	祝小学校	人・環境にやさしい学校
27	春日居小学校	自ら考え、学ぶ子どもの育成～学びを広げ深める活動を通して～
28	上野小学校	「友達や地域の人たち、世界の人たちとつながるために」
29	大塚小学校	安心安全な学習環境づくりを通して生きる力を育む
30	市川南小学校	自ら考え、共に行動できる児童を育成する。
31	増穂南小学校	地域を愛し、思いやりの心を持つ児童の育成
32	早川北小学校	自ら学ぶ 明るく たくましい子どもの育成
33	甲府南中学校	気づき考え実行する生徒の育成
34	八田中学校	環境美化奉仕作業等を通して生徒の心を育てるとともに、人のために尽くす活動をおこなう。
35	武川中学校	「自ら考え、意欲的に学び伝え合う生徒の育成」～「気づき」「考え」「実行する」活動を通して～
36	白州中学校	自助・共助のための実践的防災教育を推進し、人道教育へつなげる
37	笛川中学校	学年関係なく仲が良く、協力し合う
38	松里中学校	心豊かに、よりよい自分をめざし学び合う生徒の育成～「気づき 考え 実行する」活動を通して～
39	三珠中学校	「気づき・考え・行動する」生徒の育成
40	市川南中学校	「気づき・考え・実行する」生徒の育成
41	大月東中学校	思いやりの心を育てよう
42	勝山中学校	『「公」の社会で活躍できる人間を育てる』～授業・集団作り及び生徒・教職員・保護者・地域・専門機関等との連携を通して～
43	韮崎工業高等学校	あけばの支援学校との交流
44	笛吹高等学校	「貢献」～学校・地域から～
45	日川高等学校	地域や関連団体と連携したボランティア活動の推進
46	上野原高等学校	防災に対する意識を高め、災害時の行動について深く学ぶとともに、主体的に行動する力を身につける。人権問題や平和に対する知識を深め、調べ学習や他者との交流を通じて、自らできることを考え実践する。
47	都留興譲館高校	社会問題と地域貢献～気づき・考え・行動する
48	身延山高等学校	カンボジア自立支援活動
49	かえで支援学校	つながるこころ ～奉仕活動を通して～
50	ふじざくら支援学校	奉仕・環境保全エコ活動

(3)青少年赤十字加盟校・園(所)

幼稚園・保育園・こども園(37園)	敷島南小学校	竜王北中学校
貢川進徳幼稚園	玉幡小学校	竜王中学校
城北幼稚園	田富小学校	日本航空高等学校附属中学校
進徳幼稚園	田富北小学校	田富中学校
聖愛幼稚園	田富南小学校	玉穂中学校
つつじ幼稚園	常永小学校	押原中学校
上野原幼稚園	韮崎小学校	明野中学校
市川南幼稚園	韮崎北東小学校	泉中学校
忍野幼稚園	明野小学校	武川中学校
みかさこども園	泉小学校	白州中学校
押原こども園	小淵沢小学校	山梨北中学校
甲府あら川保育園	武川小学校	山梨南中学校
池田保育園	日下部小学校	笛川中学校
和泉愛児園	後屋敷小学校	勝沼中学校
かほる保育園	山梨小学校	松里中学校
くだま保育園	八幡小学校	塩山北中学校
甲運第一保育所	岩手小学校	塩山中学校
すみよし愛児園	日川小学校	春日居中学校
玉諸保育所	笛川小学校	一宮中学校
中央保育所	加納岩小学校	石和中学校
中道保育所	菱山小学校	御坂中学校
ファミーユ・ドゥ・フラール保育所	井尻小学校	三珠中学校
北新保育所	松里小学校	市川南中学校
宮前保育園	玉宮小学校	市川中学校
なでしこども園	塩山南小学校	増穂中学校
つつじが崎学園	塩山北小学校	早川中学校
第2なでしこども園	東雲小学校	東桂中学校
認定こども園すみれ保育園	大藤小学校	都留第一中学校
白州保育園	神金小学校	道志中学校
後屋敷保育園	勝沼小学校	西桂中学校
岩手保育園	祝小学校	忍野中学校
山梨保育園	一宮南小学校	山中湖中学校
八日市場保育園	一宮西小学校	勝山中学校
八幡保育園	一宮北小学校	猿橋中学校
窪平保育園	御坂東小学校	大月東中学校
泉保育園	春日居小学校	秋山中学校

内野保育所	市川東小学校	上野原西中学校
忍草保育所	上野小学校	上野原中学校
小学校(89校)	大塚小学校	小菅中学校
湯田小学校	市川小学校	高等学校(21校)
朝日小学校	市川南小学校	北杜高等学校
里垣小学校	六郷小学校	韮崎工業高等学校
相川小学校	増穂南小学校	甲府南高等学校
国母小学校	早川北小学校	甲府工業高等学校
北新小学校	早川南小学校	農林高等学校
甲運小学校	東桂小学校	日本航空高等学校
大里小学校	道志小学校	青洲高等学校
羽黒小学校	勝山小学校	身延高等学校
石田小学校	猿橋小学校	笛吹高等学校
新田小学校	初狩小学校	日川高等学校
大国小学校	七保小学校	山梨高等学校
舞鶴小学校	大月東小学校	都留高等学校
善誘館小学校	上野原西小学校	上野原高等学校
新紺屋小学校	島田小学校	都留興譲館高等学校
中道南小学校	秋山小学校	吉田高等学校
中道北小学校	上野原小学校	富士北稜高等学校
駿台甲府小学校	丹波小学校	身延山高等学校
豊小学校	中学校(52校)	甲斐清和高等学校
櫛形西小学校	南中学校	駿台甲府高等学校
落合小学校	上条中学校	山梨英和高等学校
芦安小学校	南西中学校	帝京第三高等学校
白根飯野小学校	笛南中学校	特別支援学校(8校)
若草南小学校	駿台甲府中学校	盲学校
南湖小学校	山梨英和中学校	かえで支援学校
大明小学校	甲西中学校	梨大附属支援学校
白根百田小学校	八田中学校	やまびこ支援学校
双葉東小学校	若草中学校	桃花台学園
竜王南小学校	芦安中学校	わかば支援学校
竜王東小学校	白根御勅使中学校	ふじざくら支援学校
敷島小学校	櫛形中学校	わかば支援学校ふじかわ分校
竜王西小学校	玉幡中学校	
合計 207校・園		

(4) 青少年赤十字研究指定事業

平成30年度～令和元年度	武川小学校　武川中学校
令和元年度～令和2年度	早川南小学校　早川北小学校　早川中学校
令和2年度～令和3年度	初狩小学校　大月東小学校　大月東中学校
令和3年度～令和4年度	一宮西小学校　一宮南小学校　一宮北小学校　一宮中学校
令和4年度～令和5年度	笛南中学校　中道南小学校　中道北小学校

(5) 義援金・救援金等への協力

○一円玉募金(青少年赤十字活動資金) 5校・園

みかさこども園、武川小学校、泉小青少年赤十字、松里中学校、上野原高等学校

○NHK 海外たすけあい 9校・園

和泉愛児園、池田保育園、みかさこども園、泉保育園、湯田小学校、一宮西小学校、駿台甲府中学校、猿橋中学校生徒会、甲斐清和高等学校

○2022年パキスタン洪水救援金 1校

甲斐清和高等学校 JRC 部

○ウクライナ人道危機救援金 12校・園

和泉愛児園、道志小中学校、新田小学校児童会、善誘館小学校、新紺屋小学校、舞鶴小学校、菱山小学校、南中学校、上条中学校、南西中学校、都留興譲館高等学校

○2023年トルコ・シリア地震救援金 4校・園

押原こども園、新紺屋小学校、田富中学校、大月東中学校

○海外救援金 1校

南中学校 JRC 委員会

○寄付金(支部活動資金) 2校

井尻小学校児童会、一宮中学校3学年

5 献血事業について

血液製剤の安定供給体制を確保するために献血キャンペーンを実施し、県民の方々に献血に関する理解と協力を求めました。

キャンペーン名	月 日	会 場
愛の血液助け合いキャンペーン	令和4年7月 10日(日)	イオンモール甲府昭和店
はたちの献血キャンペーン	令和5年1月 8日(日)	イオンモール甲府昭和店

6 赤十字社旨普及活動について

(テーマ)『人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.』

支部・病院・血液センターによる運動展開

(1) 広報活動

○赤十字運動月間 2022 の実施

- ・甲府駅ビルに懸垂幕の掲出
- ・赤十字運動月間「レッドライトアッププロジェクト 2022」の実施

○報道各社協力によるPR活動

○「赤十字やまなし」(事業報告兼広報)山梨県下全世帯30万部配布

○ホームページによる情報発信

○市町村広報誌の協力によるPR活動

(2) 日本赤十字社山梨県有功会

役員名

会 長	高野孫左エ門
副会長	進藤 中
	鬼頭 芳雄

会員数 266 名・社 (個人83名・法人183社)

年間行事

役員会・総会の開催 7月12日(火) 会場:常磐ホテル

仲間づくり運動と会員募集運動の推進

支部事業への協力

国際協力

II 施設事業について

1 山梨赤十字病院

令和4年度も新型コロナウイルス感染症に振り回された年であった。全国的に感染力が著しく強いオミクロン株の蔓延により、8月以降、第7波、第8波と感染が拡大し、県内においても感染患者数が拡大し、第8波は過去最高の感染患者数を記録し、フェーズ4の期間が長期にわたり継続した。

当院は、重点医療機関として、山梨県内の感染レベルの移行に応じてコロナ専用病棟として最大30床まで増床し、病院機能の停止を来さないために、外来患者や病院来院者等への感染予防の周知・徹底の呼びかけ、また職員対しても院内感染防止のため検査キットによる就業前検査対応を講じるなどしたが、新型コロナウイルスの変異株であるオミクロン株は我々の想像を超える強い感染力で、10月に3階西病棟で、11月には2階東病棟、12月には長期療養型病棟と3度にわたる院内クラスターが発生し、当院の入院機能は窮地に追い込まれる状態となった。この数回の院内クラスターの発生により、病棟看護師に多数の感染者が発生し病棟運営に著しく支障を來した。一部病棟を閉鎖し、病院職員が一丸となりこの難局を乗り切り、病院運営を正常な状態に戻る努力をした。この様に混乱した令和4年度は、新型コロナウイルス感染症患者を延べ3,365人受け入れ、1日平均10人を受け入れた。

病院経営においては、新型コロナウイルス感染症によって患者の受診抑制や3度にわたる院内クラスターの発生により入院患者の抑制等があり、前年度の入院患者数と比較すると5%の減少となった。医業収益は前年度と比較すると5%の減収となり医療事業収支では3年連続の赤字の計上となった。

この状況下で国は、医療提供体制を見据えた3つの改革として、①地域医療構想の実現に向けた取り組み(2025年まで)、②医師、医療従事者の働き方改革への取り組み(2024年～)、③実行性のある医師偏在対策(是正目標年2036年)を示していることに対し、外部環境を見据え対策を検討し積極的に取り組みを行う。また、新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行に伴い、より院内クラスターの発生に注意する対策を整備し、安心・安全で地域で必要とされる病院機能の改革に取り組む。

自治体への協力も引き続き行い、新型コロナウイルス感染症患者の受け入れや新型コロナウイルスワクチン接種の受け入れを積極的に実施する。

令和4年度の病院活動の概要は以下のとおりです。

○ 医療供給体制

(1) 新型コロナウイルス感染症への対応

(感染患者の入院受入れ)

新型コロナウイルス感染症の重点医療機関としてフェーズに臨機応変に対応した病床数の確保に努め、令和4年度は3,365人の入院患者を受け入れた。

(発熱外来)

発熱外来を一般外来との導線を別に設置して常時 PCR 検査、抗原定量検査のできる体制を維持し、令和4年度は3, 058人の感染疑い患者の検査を実施した。

(ワクチン接種業務支援)

新型コロナウイルスワクチン接種の支援対応として、引き続き令和4年度も富士河口湖町、鳴沢村の住民への集団予防接種を実施した。ワクチン接種会場へ医師を延べ237人、看護師を延べ422人の職員を派遣し、12歳以上の対象住民の3回目、4回目及び5回目の接種を行い、また5歳～1歳までの児童への接種、1回目、2回目の接種を開始し延べ47, 000回の接種回数となった。

(宿泊療養施設療養患者及び退所後容態悪化時の診療対応)

宿泊療養施設(医療強化型)での療養中患者の病状悪化時の対応として、医師の24時間の診療体制に協力病院として参加し令和4年度は18件の対応を行った。また、自宅療養となった患者の健康観察を実施するホームケア担当医として、当院の医師18名が登録を行い患者の健康管理を実施した。

(医師・看護師の他施設への派遣対応)

新型コロナウイルスの感染力の強いオミクロン株による感染拡大により多数の患者が入所している宿泊療養施設での病状悪化する患者の対応として医師を延べ9人の派遣を実施、点滴治療、酸素投与などの医療行為を行い入院患者の調整を図った。また、県内1ヶ所の障害者支援施設内での感染が発生、スタッフ感染拡大等もあり当院の感染症認定看護師1人を派遣し障害者支援施設内での技術支援を実施した

(新型コロナウイルス感染症関係総合対策本部入院調整班への派遣対応)

新型コロナウイルス感染症患者の入院優先度や緊急性等を判断し、必要に応じて医療機関や宿泊療養施設への振り分けへの対応として、医師を延べ14人の派遣し感染拡大のフェーズに応じた患者の療養先の振り分けを実施した。

(2) 介護職員確保に向けた外国人介護人材育成の推進

これまで一般社団法人国際交流協会の外国人看護師就労支援プロジェクトの参加し、積極的に外国人医療人材の採用と活用に努め、令和2年度から令和4年度まで中国国籍の正看護師1人、准看護師6人を採用した。令和5年度は、正看護師4人、准看護師1人の計5人の採用となった。

今年度は、新たに介護福祉士育成コースに参加し、2人を介護福祉士養成校に進学させ令和6年度採用予定とし就業可能な人材の選定と育成に努めた。

(3) 医師、医療従事者の働き方改革への対応

労働法規の改正により2024年4月以降「医師の年間の時間外労働960時間以下」が義務付けられ医師の労務管理の徹底、労働時間短縮を目的とした連続勤務時間制限や勤務間インターバル

などの健康管理等の措置を含めた対応が施設管理者に求められる。

当院は令和2年度より改善対応として変形労働制を導入し、宿日直業務を勤務への変更を実施してインターバルとして振替休日を取得する体制に変更して約2年間経過したが、有給休暇の取得率も年々向上し、年10以上の有給休暇が可能となっている。

令和4年度は、山梨県医療勤務環境改善支援センターの医療労務管理アドバイザーの支援を受け、昨年より検討を開始していたコメディカルスタッフの宿直業務について変形労働制を2月より導入し、労働時間管理の徹底を図った。

令和4年度は半年で交代する後期研修医が増加したこと、入院、外来患者数の減少等の影響で年間の時間外労働960時間を超える医師はいなかつた。

(4) 後期研修医の受入れ

医師の働き方改革を進めていく上で医師を確保することが最重要課題である。そのためには、新専門医制度が開始されるなか基幹病院である大学と実地研修を行う受入病院との密な連携が重要であり当院は研修体制を整備し、初期研修・後期研修の研修医の受入を積極的に進めている。

令和4年度の後期研修医は3人増員で計13人となり、全体医師数37人となり医師の労働環境は改善してきた。

(5) 山梨県地域医療構想に向けた取り組み

厚生労働省は、今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、我が国の医療提供体制に多大な影響が生じ、地域医療の様々な課題が浮き彫りとなり、地域における入院・外来・在宅にわたる医療機能の分化・強化・連携等の重要性、地域医療全体を視野に入れて適切な役割分担の下で必要な医療を面として提供することの重要性などが改めて認識された。新型コロナウイルス感染症対応により全国の医療機関はコロナ禍で入院・外来患者数は受診抑制等のため大幅に減少し、この間も人口減少・高齢化は着実にすすみつつあり、医療ニーズの質・量が徐々に変化するとともに、質の高い効率的・効果的な医療提供体制の構築に向けた取り組みを進めることにより、地域医療構想を引き続き着実に推進し、人口構造の変化への対応を図ることが必要とされている。

当院は構想区域内の医療機関の動向や医療ニーズの変化をリサーチし、病床の削減等も視野にいれ機能転換の推進を図り医療ニーズに合わせた病棟再編、外来機能の再構築を順次進める。

○ 赤十字施設としての取り組み

(1) 災害救護活動等への参加

近年は台風、豪雨、日照不足、猛暑、豪雪などの多くの異常気象、自然災害が発生している。令和4年度では大きな災害はなく、現況では富士・東部医療圏の新型コロナウイルス感染症による医療崩壊を防ぎ、感染の状況に応じた医療体制を確保し、地域住民の生命及び健康を保護するため、感染症の発生状況に応じた対策を実施、医療連携を強化し感染拡大を抑える努力を行っている。

(2) DMAT 要員の育成と活動の充実

頻発する自然災害に対する対応、新たに新型コロナウイルス感染症の対応など様々なケースに適時対応できる DMAT 隊の体制整備を図る。新型コロナウイルス感染蔓延の対応で新型コロナウイルス感染症関係総合対策本部の DMAT による入院先調整が開始され当院からも DMAT 隊(医師)を派遣し対応にあたった。

今年度は、災害医療活動のみではなく感染症対応技術の習得を含めた DMAT 要員の教育訓練を実施した。

(3) 日赤救護班の充実

令和4年度の11月に実施された日本赤十字社第3ブロック支部総合訓練、山梨県地震防災訓練、日本赤十字社第2ブロック支部総合訓練の計3回参加し、医師・看護師及び主事16人を派遣し救護班の充実を図った。

(4) BCP(医療継続計画)

大規模災害や緊急事態が発生した場合、院内資産の損害を最小限に留め、入院患者の安全確保や病院機能の早期回復を図るために緊急時の対策や手段を予め取り決めた医療継続計画に基づき医療業務を行う。今年度は BCP による職員の招集訓練・情報伝達訓練を実施した。

2 山梨県赤十字血液センター

日本赤十字社では、平成24年度より血液事業の運営体制を広域化し、全国を7つのブロックに分け都道府県の枠を超えての需給体制を構築しており、「効率的な事業運営」、「血液製剤の安全性の向上」及び「安定供給の確保」が図られているところです。

山梨県赤十字血液センターについては、関東甲信越ブロック(1都9県)とともに血液法や薬機法などの関係法令を遵守した事業管理体制を構築して事業に取り組んでおります。

(1) 血液製剤の安定供給

令和4年度は、赤血球製剤は前年度比0.1%増加、血漿製剤は15.0%増加、血小板製剤は18.6%減少しました。全体としては7.5%減の供給となりました。

赤血球製剤は、前年度並みの供給数でした。前年度と同様に新型コロナウイルス感染症の全国的な蔓延状況に伴う供給数への影響は限定的でした。

血漿製剤は、血漿交換の症例数が例年より多かったことに伴い、前年度に比べ増加しました。

血小板製剤は、前年度は主要医療機関における血液内科の病床数の増加と、それに伴う造血幹細胞移植症例の増加に伴い大幅に増加しましたが、今年度は使用基準の見直し等により一昨年度並みに戻りました。

このように、血漿製剤の供給は増加し、血小板製剤は減少しましたが、1週間を基軸とした綿密な需要予測と広域需給管理体制のメリットを最大限に生かすことにより、過不足のない安定した供給ができました。

供給実績		(200mL献血由来製剤を1単位とする)			
区分	全血製剤	赤血球製剤	血漿製剤	血小板製剤	合計
令和3年度実績	0	38,780	12,489	51,560	102,829
令和4年度実績	0	38,820	14,363	41,955	95,138
前年比	0%	100.1%	115.0%	81.4%	92.5%

(2) 献血者確保状況

令和4年度は、過去2年間と同様に、コロナ禍における献血者確保となり、感染拡大の時期には献血バスの受入れ先が中止となるなど、厳しい状況でした。

これに対し、市町村献血やショッピングモールでの臨時の献血の実施、企業では年間の献血回数を複数回にしていただく、献血経験のある方へのハガキ・メールによる依頼などを行うことで、必要な献血量を確保できました。

献血ルームでは、9年半入居していたココリビルとの契約更新が出来なかったことから9月より新地(甲府市中央2丁目)に移転しました。移転後は立地条件、認知度不足もあり前年同月を連続して下回っています。しかしながら順調な確保が続いた移転前の実績とハガキ、メール依頼を続け、季節キャンペーンの実施などで年間計画は達成しました。今後に認知度向上に向けた取り組みを更に進める必要性を

認識しました。

昨今、拡大した新たな献血のかたちである予約献血は、献血ルームでは多くの方に利用されており、その有用性から、毎月、成分献血の予約者限定日を設け、献血者より好評を博しています。成分献血の予約献血率は 80%を超えていいます。献血バスの会場でも予約献血を推進しており、徐々に予約献血が浸透しつつあります。

コロナ禍で受け入れていた 200mL 献血も、前年度に引き続き令和 4 年度は医療機関の需要に見合うよう、高等学校以外の献血会場で 400mL 献血を強力に推進した結果、400mL 献血者の全血献血に占める割合は、96.9% とコロナ禍以前の水準よりも向上しました。

若年層献血の推進については、新型コロナウイルス感染症の影響により、一部の高校・大学での献血が中止となったものの、概ね献血を実施することが出来ました。また、献血の重要性を高校生に知つてもらうための献血セミナーは、密を避けて体育館で実施する、クラス毎に入れ替わりで実施する、リモートで行うなど、工夫しながら実施することが出来ました。

採血実績

(単位:人)

区分	200mL	400mL	成分	合計	計画人数	計画比
移動採血	671	15,977	0	16,648	15,634	106.5%
献血ルーム	75	7,287	12,700	20,062	18,792	106.8%
合計	746	23,264	12,700	36,710	34,426	106.6%

(3) 輸血用血液製剤の安全対策

従来から実施している献血受け入れ時の献血者の本人確認の実施など、「安全性の向上」に向けた 8 項目の対策を適切に実施しました。

また、新型コロナウイルスのワクチンを接種された方の献血の受け入れ基準が追加されるなど、コロナ禍における献血についても適切に実施しています。

(4) 各種キャンペーン・イベントの推進

新型コロナウイルス感染防止の観点から、献血会場でのイベント規模を縮小しながらも、若年層献血・複数回献血の推進に努め、成分献血・400mL 献血の理解促進に主眼をおいたキャンペーンを実施しました。

実施月日	キャンペーン名	場所	内容	献血者数
7月 10日	愛の血液 助け合い運動 街頭献血 イベント	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	59人

8月13日	ヴァンフォーレ甲府応援献血	小瀬スポーツ公園	街頭献血イベント	42人
12月25日	全国学生クリスマス献血キャンペーン	イオンモール甲府昭和	学生推進協議会による街頭献血イベント	70人
1月8日	はたちの献血 街頭献血 イベント	イオンモール 甲府昭和	街頭献血イベント	53人
2月23日	ふじさん献血	献血ルーム イオンモール 甲府昭和	静岡県赤十字血液センターとの合同献血イベント	128人
通年	めぐる献血プロジェクト		各種キャンペーン、 CM放送による若年層への 献血啓発	
通年	VF甲府との コラボ企画		ポスター・クリアファイルの作 成・配付、献血啓発	

(5)医薬情報活動

①医療機関への情報提供

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を県内医療機関へ配付しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会や医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ出席し、情報提供をしました。

お知らせ

発行年月	内 容
2022年6月	血液製剤等に係る遡及調査ガイドラインの一部改正について(E型肝炎ウイルスの遡及調査について)
2022年12月	(照射)赤血球液-LR「日赤」の有効期間変更のお知らせ
2022年12月	(照射)赤血球液-LR「日赤」の注意事項等情報改訂のお知らせ

輸血情報

発行年月	内 容
2022年4月	診療報酬特別号 2204 輸血用血液製剤の診療報酬及び薬価・医薬品コード・レセプト電算コード等についてー令和4年4月現在ー
2022年8月	2208-176

	輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例－2021年－
2022年8月	2208-177 赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用－2021年－
2022年12月	2212-178 血小板製剤の輸血による細菌感染が疑われた事例について
2023年3月	2303-179 輸血用血液製剤の取り扱いについて(1910-169の改訂版)

②医療機関との連携

医療機関との連携による輸血副作用情報の収集について、13施設から167件を収集しました。

③看護師対象の輸血基礎セミナーの開催

県内医療機関における輸血医療の向上を目的として看護師対象の輸血基礎セミナーをオンラインで開催しました。

開催月日	内 容	参加者
2022年9月28日	講演「安全な輸血のための基礎知識」 実習「輸血セットの取り扱い」(希望者のみ)	18施設 52名

④医療機関での説明会・輸血療法委員会への参加

輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした院内説明会を13回開催しました。また、医療機関の理解を得て院内輸血療法委員会へ2施設出席しました。

⑤医療機関との連絡調整会議の開催

山梨県では「山梨県合同輸血療法委員会」を設置し、血液製剤の適正使用の推進及び安全な輸血医療の確保に取り組んでおり、血液センターも委員として参加し協力しました。

開催年月	会議名	内 容
2022年 6月	山梨県合同輸血療法委員会 (オンライン)	令和3年度事業報告 令和4年度事業計画案 令和3年度の当県の現状について
2022年 8月	第1回 I&A 委員会(オンライン)	相互視察後の対応の確認 今年度の活動計画について
2022年 9月	第1回 血液製剤の需給に係る連絡会議 (オンライン)	令和3年度の当県の現状について 院内監査実施状況報告 I&A 委員会からの報告 血液センターからのお知らせ

		<ul style="list-style-type: none"> ・Web発注システム使用状況 ・定時配送率の報告 ・献血ルーム移転のお知らせ 他
2022年10月	第2回 I&A委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	I&A委員会 相互視察(オンライン)	相互視察 (対象:富士吉田市立病院)
2022年12月	山梨県合同輸血療法委員会 委員長会議 (オンライン)	<p>令和3年度事業報告及び令和4年度事業内容について 令和3年度の当県の現状について 合同輸血療法委員会からのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸血関連インシデントの共有について ・I&A委員会からの報告 <p>「アレルギー性輸血副作用と食物アレルギー」(血液センター所長 杉田完爾)</p>
2023年3月	第2回 血液製剤の需給に係る連絡会議 (オンライン)	<p>血液センターからのお知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤血球の有効期間延長について ・県内副作用発生状況 他 <p>輸血インシデントの情報共有と今後の取り組みについて I&A委員会からの報告</p>
	第3回 I&A委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	第4回 I&A委員会(オンライン)	相互視察に向けて指摘事項等の確認
	I&A委員会 相互視察(オンライン)	相互視察 (対象:甲府共立病院)

⑥山梨輸血研究会

山梨輸血研究会は、県内輸血医療関係者で構成されている研究会で、血液センターが事務局をしています。輸血医療の向上と情報交換を目的とし、研究会の開催や会報の発行、ホームページの管理を行っています。

今年度も感染症対策を施しながら、現地とオンライン配信のハイブリッド形式で開催しました。

第38回 山梨輸血研究会総会	開催日:令和5年2月18日(土) 開催方法:ハイブリッド形式 場所:山梨大学医学部 臨床講義棟小講堂
-------------------	--

	<p>Microsoft Teams</p> <p>一般演題:4題</p> <p>記念講演:「山梨県赤十字血液センターの活動特性」 山梨県赤十字血液センター 所長 杉田 完爾 先生</p> <p>特別講演:「アレルギー性輸血副反応と 発熱性非溶血性輸血副反応の臨床像」 信州大学医学部附属病院 輸血部 柳沢 龍 先生</p>
--	--

(6)骨髓バンクへの協力状況

- ①ドナー(骨髓提供希望者)登録受入及び検体採血
- ②ドナー登録会への協力
- ③令和5年3月末現在 県内有効登録者数 2,177人 全国 544,305人

(7)会議、研修会等の開催と参加

新型コロナウイルス感染症の対策を行ったうえで、実施可能な範囲内で県や献血関係諸団体等と連携し、研修会等を開催しました。

* 諸会議

実施月日	会議名	場 所	内 容
4月20日	山梨県献血推進協議会総会	山梨県立防災新館	事業報告及び山梨県献血推進計画(案)の協議、献血及び供給の現状の説明
6月6日	血液事業推進会議・市町村血液事業担当者会議	山梨県立防災新館	事業報告及び山梨県献血推進計画の説明、献血及び供給の現状の説明、ラブラッド会員登録と予約献血の推進
12月13日	ライオンズクラブ国際協会330-B地区と赤十字血液センター合同会議	ベルクラシック甲府	血液事業の現状及び今後のお願い、講演「山梨県における献血活動の特性と将来展望」、献血活動について(事例発表)
2月10日	血液事業推進会議	オンライン会議	山梨県献血推進計画(案)について、献血・供給の状況及び計画について、献血団体名簿について、各保健福祉事務所の献血推進状況について

* 研修会等への参加

実施月日	研修会名	会 場	参加人数
7月12日	西桂町献血推進協議会	西桂町いきいき健康福祉センター	30人
2月7日	第6回山梨県高等学校教育研究会健康教育部会	山梨県総合教育センター	60人

* 若年者献血セミナー事業

実施月日	研修会名	会 場	参加人数
6月13日	献血に関するセミナー	私立第一学院高等学校甲府キャンパス	23人
10月5日	献血に関するセミナー	県立塩山高等学校	84人
11月2日	献血に関するセミナー	県立身延高等学校	62人
11月21日	献血に関するセミナー	県立上野原高等学校	86人
12月2日	献血に関するセミナー	県立白根高等学校	129人
12月21日	献血に関するセミナー	県立農林高等学校	143人
2月8日	献血に関するセミナー	県立甲府工業高等学校	261人
2月14日	献血に関するセミナー	私立甲斐清和高等学校	147人

(8)献血推進功績者に対する表彰

① 第58回献血運動推進全国大会

令和4年7月14日に愛知県にて、新型コロナウイルス感染症の影響により来場人数を制限し、オンライン視聴による開催となりました。献血推進に功績のあった厚生労働大臣表彰(1団体)、厚生労働大臣感謝状(2団体)は、後日個別に表彰されました。

② 献血感謝のつどい in 山梨

新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。献血推進に功績のあった山梨県知事表彰(4団体)は、後日個別に表彰されました。山梨県知事表彰(10個人)、日本赤十字社表彰(金色有功章57名・銀色有功章106名)は発送をもって表彰に替えております。

③ 多回献血者顕彰(献血現場にて記念品を贈呈)

献血回数 10回	781名
30回	286名
50回	154名
50回以上※	33名
合 計	1,254名

※令和2年11月より献血者顕彰規定が改正されました。